

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

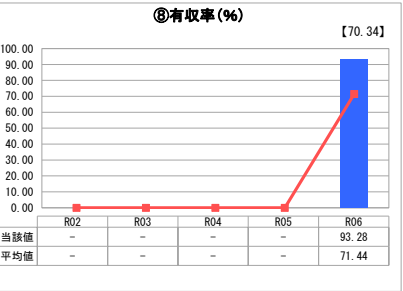
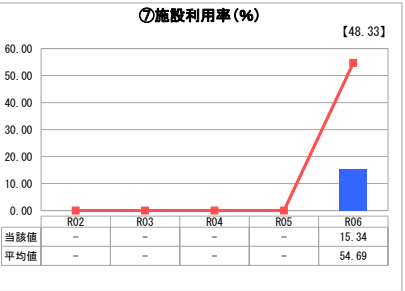
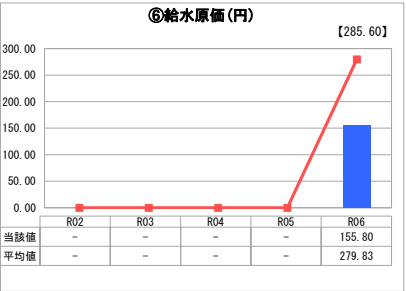
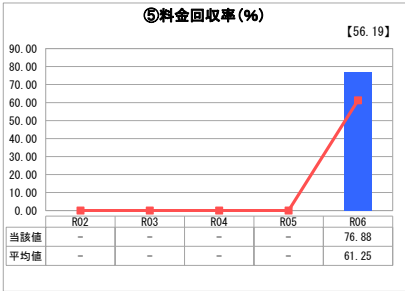
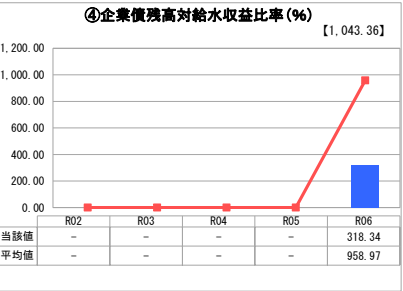
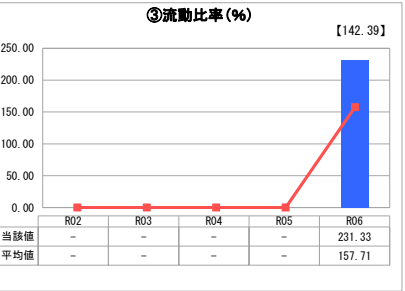
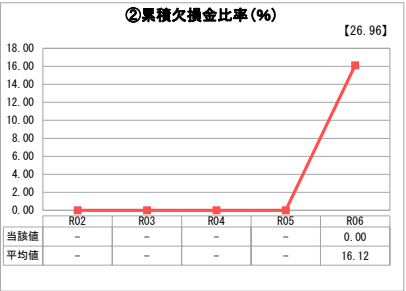
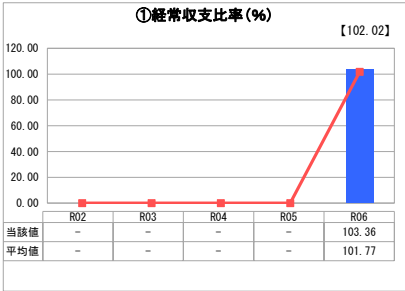
群馬県 片品村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	80.18	95.80	2,200	

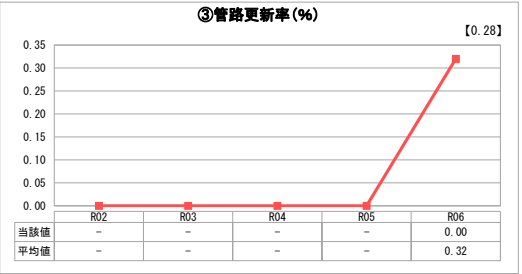
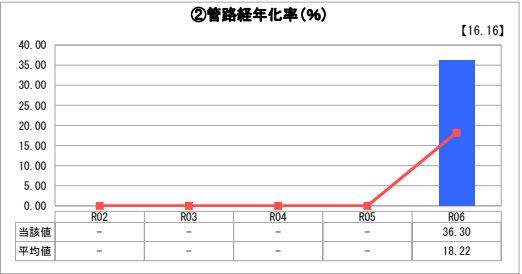
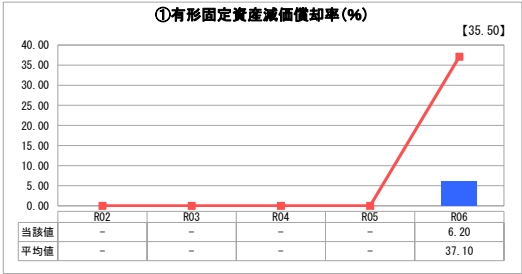
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,928	391.76	10.03
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,697	13.86	266.74

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- 100%は超えているものの、給水人口の減少に比例して料金収入も減少している。将来的には料金の見直しを検討する必要がある。
- 累積欠損金比率は0%で欠損金がないが、今後も数値を悪化させない経営努力が必要になる。
- 100%を上回っているが、今後企業債の借入額の増加が見込まれるため、数値を悪化させない経営努力が必要となる。
- 類似団体平均値との比較では低い水準にあるが、老朽化した施設や管路の更新による企業債の借入が見込まれるため、今後増加が予想される。使用料収入の確保に努めていく必要がある。
- 料金回収率は、全国平均を上回っているが、100%を下回っているため、適切な料金収入の確保が求められる。
- 給水原価は類似団体より低く推移している。漏水対策等を進め、よりコストを抑制できるよう努めていく。
- 施設利用率は使用量の減少等により低水準となっており、統廃合や施設規模の見直し等改善する必要がある。
- 90%台と高水準である。漏水が主な原因であるため、後は漏水調査等により漏水箇所の発見、修繕により改善に努めていく。

### 2. 老朽化の状況について

- 老朽化した施設が存在しており、計画的な施設更新を図っていく必要がある。
- 管路経年化率は36.30%と老朽化が進んでいる。老朽化による漏水も予想されるため、計画的な施設更新を図っていく必要がある。
- 令和8年度から計画的に管路更新等を進める予定である。

## 全体総括

給水人口の減少により給水収益も減少傾向にある中、今後は施設は老朽化等による修繕経費が増大していく傾向である。修繕に係る費用も物価高騰の影響による値上がりが続く深刻な問題となっている。

人口減、修繕経費の増加等深刻な問題があるため、今後の経営は、料金見直しの検討と、より一層の経費節減と効率化に努める必要がある。□